

令和7年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校等と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

2 期日・会場

令和7年10月3日（金） 県立誠和福祉高等学校

3 参加対象校

- ・東部教育事務所管内公立中学校及び義務教育学校 92校
- ・管内市町に所在する県公立高等学校 39校

4 主な内容

（1）全体会

- ・会場校の学校説明 県立誠和福祉高等学校から

（2）授業参観・施設見学

（3）分科会（グループ協議、指導助言）

【協議題】

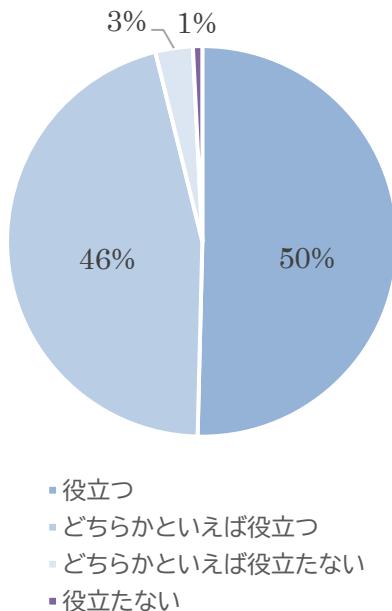
中学校・義務教育学校後期課程から高等学校への円滑な接続を目指す
進路指導・キャリア教育の現状と課題

【協議の視点】

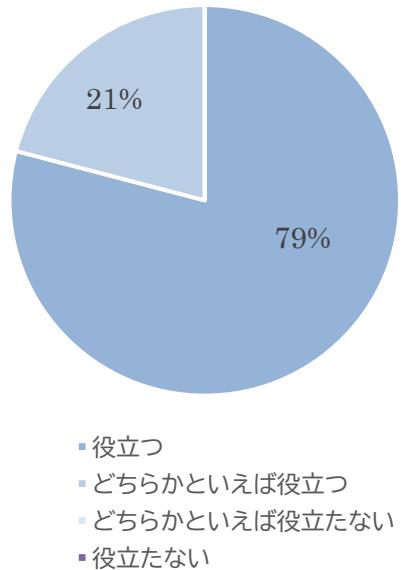
生徒にとっての魅力ある高等学校～中高連携について～

5 参加者の感想から

1 全体会の「情報提供」は学校での進路指導等に役立つものでしたか？



2 分科会の「研究協議」は、学校での進路指導等に役立つものでしたか？



【成果】

- 他校のキャリア教育の実践を聞くことができて参考になった。高校の先生のお話を聞く機会はなかなかないので、良い機会となった。
- 学力向上や多様な家庭環境に対する対応など、共通の課題を発見することができた。
- 中学校の先生方と話ができる、高校が抱えている悩みが中学校そして小学校から連続的に続いているということが分かった。また高校側が少し問題だと思っていたことも、実は中学校側も同じ問題意識があるということが分かり、それを共有できたことも良かった。
- 高校と中学校でそれぞれ感じていることの違いについて話し合ったり、高校から進路選択をする上での情報提供をいただいたり、学びのある協議ができた。今回の協議で得られたことをこれからの進路指導に活かしていきたい。
- 中学校の進路指導やキャリア教育の現状を知ることができ、今後の学校説明会等を行う際の参考になった。
- キャリアパスポートについての取扱いが課題として出たが、他の中学校や高校でもまだまだ上手く活用できていないところがあるということが分かった。活用の方法を見直していきたい。
- 進路指導やキャリア教育の具体的な取組を学ぶことができ、大変参考になった。また、高校の先生方と話し合う中で、具体的な進路指導の方法や入試の仕組み、中学校卒業後を見据えた進路指導の重要性など学びを深めることができた。

【課題・改善】

- 専門学科の高校の見学と、中高の先生方が話し合う機会は分けて、近隣で開催できれば、更に有意義である。（地区ごとの開催など）

- 授業参観では専門的な授業をもっと見ることができるとよかったです。
- キャリアパスポートの意義や活用について高校と中学校の先生でしっかりと話し合う必要があるのではないか。
- 高校と中学校の教員が直接話せる機会は少ないので、分科会の時間を増やしてほしい。

6 専門学科のある高校について、知りたいこと

- 同じ専門学科でも学校によって違いがあるのか。
- 具体的にどのような授業を行っているのか、卒業後の進路について。
- 専門の資格の取得率はどの程度になるのか。
- 就職指導をどのように行っているのか。また、就職先や進学先について詳しく知りたい。
- 具体的な授業の内容や様子が見えると生徒もイメージしやすいと思った。授業風景などをHP等で見ることができるといい。
- どんな授業をしているか、それを体験できる機会が中学生にあるか、知ることができるとよい。